

科目名	医療倫理学特論 (Advanced Study on Medical Ethics)		科目コード	M105	
選択区分	必修	履修時期	1 後	単位数 (時間)	1単位 (15時間)
担当教員	鈴木 美香*		関連DP	看②③④、医②③④	
授業概要	医療倫理や研究倫理の歴史と基本的概念及び方法論等について解説し、ケースを用いたディスカッションを通じて、課題解決に向けたアプローチを実践できるための講義を展開する。				
授業目標	1. 医療倫理学・研究倫理学の重要概念を理解し、現場で生じる課題に気づくことができる。 2. 倫理的課題を解決するための方法論を理解し、現場で活用・実践することができる。 3. 事例や討論を通して、医療や研究の場面で遭遇する倫理的問題に対して、どのように考え 行動すればよいか判断する拠りどころを築くことができる。				

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容
1	医療倫理とは何か	生命倫理学の歴史、医療者—患者関係の変容等について基本的な考え方を学ぶ。
2	インフォームド・コンセントとは	インフォームド・コンセントの概念を学び、事例をもとに自己決定について考える。
3	医療倫理の方法 (1)	医療倫理の四原則の内容を説明した上で、事例を使って考える。
4	演習 (1)	課題解決のための道筋について説明した上で、事例を使って考える。
5	医療倫理の方法 (2)	臨床倫理の四分割法の内容を説明したうえで、事例を使って考える。
6	演習 (2)	課題解決のための道筋について、事例を使って考える。
7	人を対象に研究する とは	臨床研究の歴史やその必要性を概説し、実施する上で必要な作法等について学ぶ。
8	プロフェッショナリズムとは	プロフェッショナリズムの歴史や概念を概説し、自らの行動基準について考える。
成績評価方法	討論 (グループワーク等の課題を含む) およびレポートを 1 : 1 で評価する。	
必携あるいは 参考図書・文献	参考図書：赤林朗編『入門・医療倫理 I (改訂版)』(勁草書房)、 児玉聡・なつたか『マンガで学ぶ生命倫理』(化学同人)、その他講義内で紹介。	
授業時間外の 学習について	特に予習の必要はないが、各講義後に、配付資料や参考文献について復習を要する (60 分)。	
関連科目	203 看護研究方法論、302 医療技術科学研究方法論⇒本科目⇒223, 322 特別研究	
備 考	集中開講の予定	